

事例1.「学校の宿題で「行田市のうつりかわり」をさがしたい」

(2月5日 午前 行田市立〇〇小学校児童1名と保護者2名来館)

見学までのやりとり

※赤：〇〇小学校先生の行動 青：博物館学芸員の行動

1月30日ー 〇〇小学校3年生担任の先生から電話で連絡(学校→博物館)
「2月1～15日までの間で、「行田市でうつりかわったもの」を探す宿題を出しました。調べる方法として図書館や博物館の利用を紹介しています。」
博物館学芸員が開催中の博学連携展示をもとに、対応について準備

見学当日

2月 5日ー 児童1名・保護者2名来館
受付にて「宿題しらべ」での来館を申し出
→受付にて「児童・生徒の「宿題しらべ」無料入館申込書」に記入
児童1名 入館料免除(保護者2名は有料)

児童・生徒の「宿題しらべ」無料入館申込書								No.1
番号	日付	名前	学校の名前 (学校がある場所)	学年	組	教科	宿題のテーマ	
例1	2月5日	〇〇〇〇	〇〇小学校 行田市内	3年	1組	社会	「市のうつりかわり」しらべ	
例2	8月1日	〇〇〇〇	〇〇中学校 〇〇県〇〇市	2年	B組	自由研究	埴輪と渡来文化について	
	月 日			年 組				
	月 日			年 組				
	月 日			年 組				
	月 日			年 組				

「児童・生徒の「宿題しらべ」無料入館申込書」

児童は館内企画展示室を中心に見学、調べたいことについて学芸員に質問
学芸員は写真など資料を提示しながら回答

同様の来館が15日までの間に複数回

後日

要望があれば、博物館から学校へ見学件数の報告(博物館→学校)

※個人情報の観点から来館した児童の氏名は報告しません。

